

みんなで節電！こころは充電！

今夏の電力需給は、企業や家庭において節電が定着していることを前提として、安定供給を確保できる見通しです。

しかし、不測の事態による電力不足に備えて、昨年に引き続き節電への取り組みが必要です。

電力需要を抑えるために、市民の皆さん、市内事業所の皆さん、市が一体となり、無理のない範囲で、できる限りの節電に取り組みましょう。

ただし、エアコンの控えすぎなどによる熱中症などには十分お気をつけください。

【節電取り組みの方針】

☆ 家庭や市内事業所においては、昨年の夏同様に無理のない範囲で、できる限りの節電に取り組んでいただくをお願いします

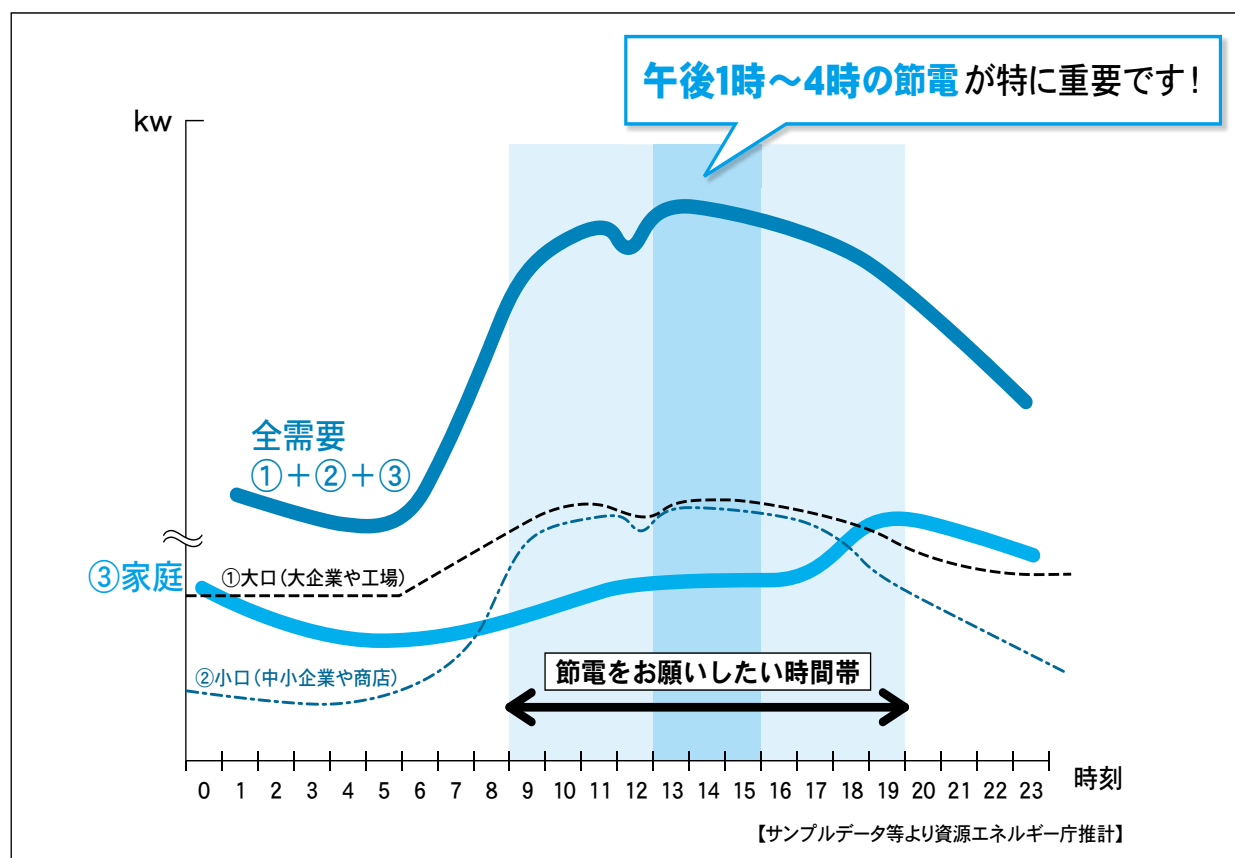
☆ 市の施設においても、数値目標は設けませんが、率先して節電に取り組めます

※行政サービスは、通常どおり行うことを原則とし、市民の皆さんの熱中症などの体調管理や、市民生活における安心安全については十分に注意を払うこととします

【取り組み期間】

7月から9月を重点取組期間として、重点的に節電対策に取り組めます。

特に、電力需要が最大ピークとなる傾向にある午後1時から午後4時の節電が重要です。



○政府の節電ホームページ「節電.go.jp」（<http://setsuden.go.jp/>）で、ご家庭や事業所の皆さんに節電に取り組んでいただけるよう、詳しい節電に関する情報をお知らせしています。

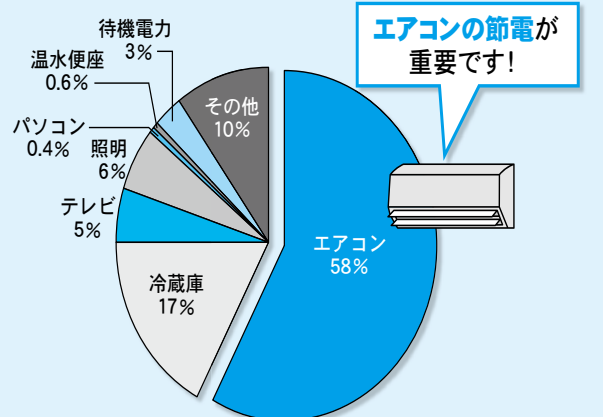
■問合せ 環境政策課 ☎（61）1155

○家庭での節電メニューを紹介します

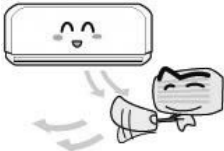
夏においては在宅世帯の日中(午後2時頃)における電力消費の約半分をエアコンが占めているため、エアコンの節電が重要です。ただし、熱中症など体調の管理には十分注意して、無理のない範囲で節電にご協力ください。

次の家庭の節電メニューのうち、できるものから無理のない範囲で取り組んでいただきますようお願いします。

夏の昼間(午後2時頃)の電気機器の使用例(在宅世帯)



【資源エネルギー庁推計】

節電メニュー		節電効果
	室温28℃を心がけましょう。 扇風機などを併用すると効果的です。	約10% ※設定温度を2℃上げた場合
	冷蔵庫の設定を「中」にし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。 ※食品の傷みにご注意ください	約2%
	テレビを見ない時は消しましょう。	約2% ※省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合
	日中は不要な照明を消しましょう。	約5%
	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。 長時間使わない場合は、プラグを抜きましょう。	約2%
グリーンカーテンの設置や、日中に出かけたり、ご友人宅に集まるなどの外出も効果的です。		—

※ 節電効果の数値は資源エネルギー庁の推計で、目安です

※ イラストは環境省ホームページから引用

このページを家庭の見やすいところに掲示して節電に心がけましょう。